

「ゲートウェイカレッジ」を2027年度に創設

—国際卓越研究大学第一号・東北大学が実現する未来型教育—



Tohoku University
Gateway College



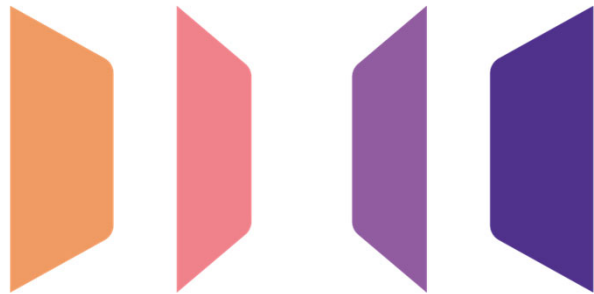
TOHOKU
UNIVERSITY



東北大学



国際卓越研究大学 東北大学が実現する未来型教育
「ゲートウェイカレッジ」



**Tohoku University
Gateway College**

ゲートウェイカレッジは
日本で初めて
国際卓越研究大学に認定された
東北大学が創設する
新しい学びの拠点

自らの関心と夢に沿って学びを選び
自分の力で未来を描いていく
知の蓄積と最先端の教育環境が
知的冒険を支え
自分だけの物語を導く

Tohoku University Gateway College
ここから、あなたの旅が始まります

ゲートウェイカレッジの概要

MOVE AND SHAKE.



- 創設:2027年4月
- 区分:全学部が参画する、学士課程に置く特別教育プログラム
- 募集人員・選抜方法:
入学者は約180名 日本人と留学生の比率は概ね1:1
入学者選抜は「総合型選抜」として実施、入学時には学部を定めない
- 入学時期:4月及び10月
(4月入学は国内学生中心、10月は海外からの学生中心)
- 3つの理念:
Immersion 本物に浸る: 多様な文化と世界の知に浸る、英語で学ぶ国際共修体験
Inquiry 自ら問う: 全学の知を結集した環境で、主体的に問う学び
Innovation 未来を創る: 知的探究を深め、挑戦を創造へつなぐ力を修得
- 学位:卒業時は専門分野の名称を付記した学位(学士)を授与



世界へ、そして未来へのゲートウェイ

Immersion

本物に浸る

多様な文化と世界の知に浸る
英語で学ぶ国際共修体験

- ✓ 日本人学生と外国人留学生が英語で共に学ぶ国際共修環境
- ✓ 半年間の集中英語イマージョン教育を経て、10月に留学生と合流、本格的共修開始
- ✓ 世界の知と文化に触れる座学・実践型授業・海外体験を通じた学び

Inquiry

自ら問う

全学の知を結集した環境で
主体的に問う学び

- ✓ 学部の枠を越えた横断カリキュラムで、多彩な学問領域を探究
- ✓ 入学後に専門を選択し、自ら学びの計画を立てる自由度を確保
- ✓ 学部早期段階から研究やプロジェクト型授業に挑戦し、探究心を育む

Innovation

未来を創る

知的探究を深め
挑戦を創造へつなぐ力を修得

- ✓ 座学を越えた実践的学びで知的挑戦を深化
- ✓ 海外留学・課題解決型プロジェクトを通じ、学びを社会・研究に還元
- ✓ 学部での学びを大学院や次の研究ステージで活用する力を養う

養成する
人材像

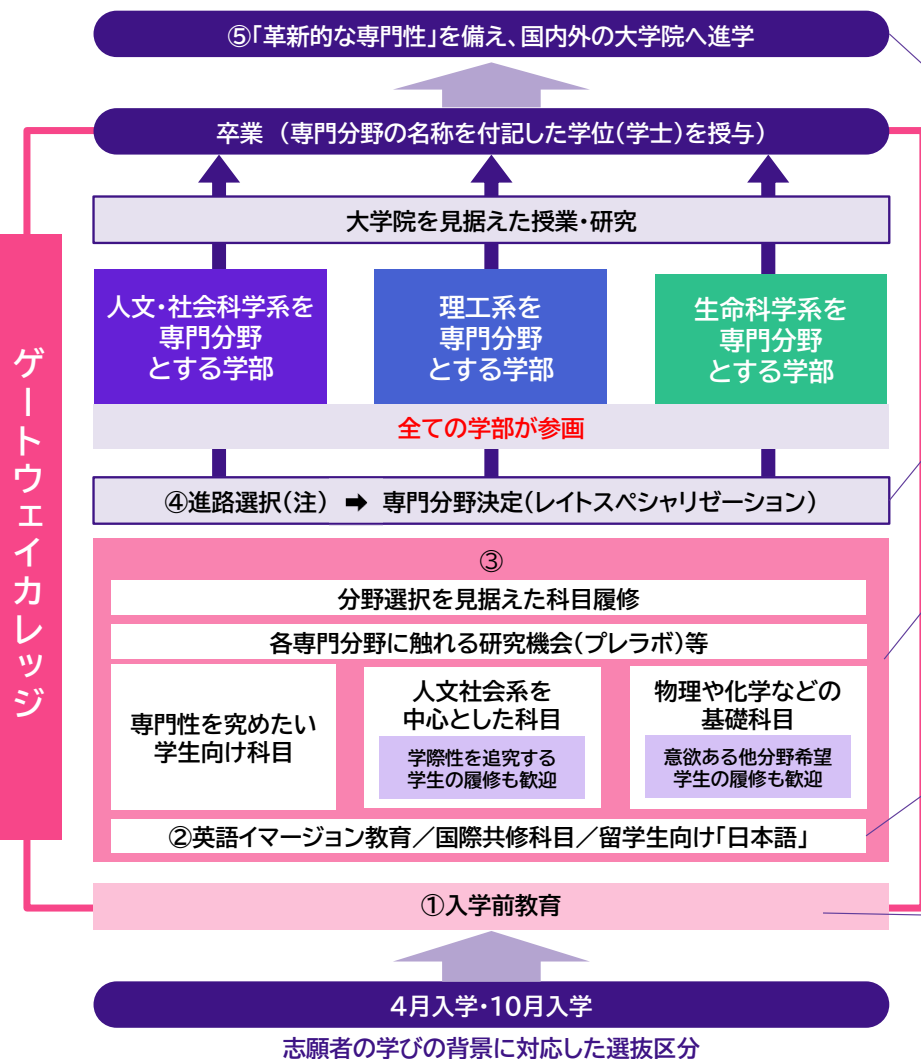
- ✓ 世界的な課題に挑む創造的思考やイノベーション能力を持つ人材
- ✓ 多様性の価値を理解しグローバルな視点を有する人材
- ✓ 研究への挑戦心を持ち、リーダーとしての資質を備える人材

東北大学が実現する未来型教育 ゲートウェイカレッジ

MOVE AND SHAKE.



学びの流れ

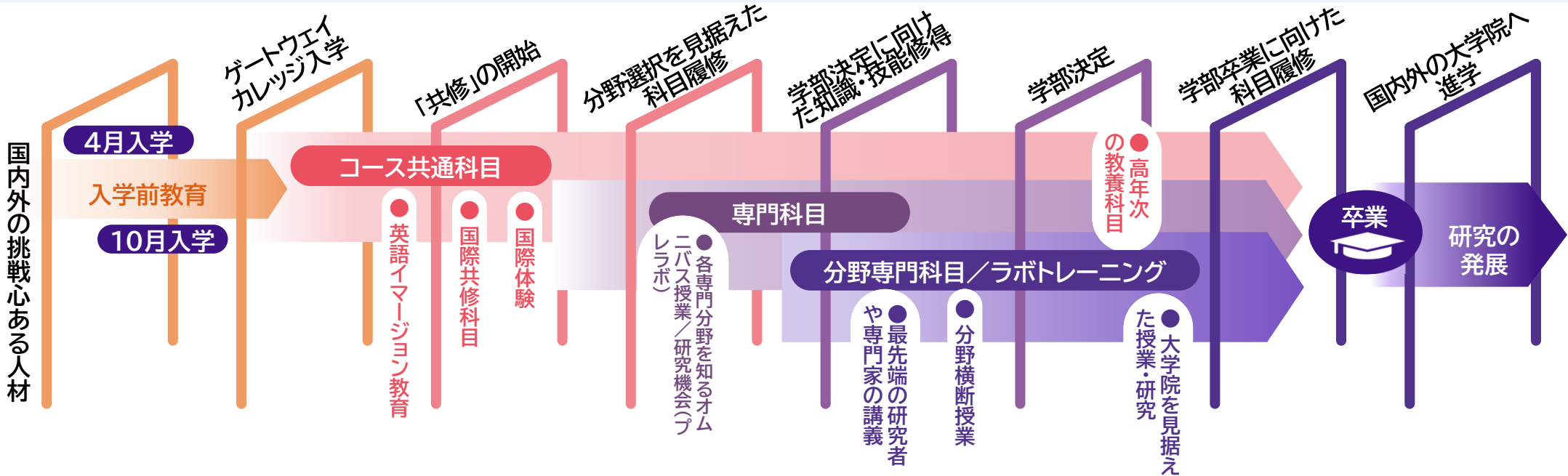


- ⑤ 国内外の大学院に進学し、世界的な課題やイノベーションを創出する人材として社会に貢献
- ④ 高年次(3年次以降の所定の時期)に専攻分野を決定、各分野の最先端の研究者からの深い学びで専門性を修得
- ③ 学生一人ひとりが自ら学びを計画
 - 世界や社会の課題に挑む国際共修科目
 - AIリテラシー等次世代の知を育む先端科目
 - 幅広い教養・分野横断的な基礎科目
 - 早期からの研究機会(プレラボ)
- ② 入学後は「英語に浸る」
 - 半年間の「英語イマージョン教育」
 - 外国人留学生との共修を体験
 - グローバルな環境で活躍できる能力を身に着ける
- ① 4月または10月のいずれかで入学、入学前から英語力や日本語力等を伸長するプログラムを受講

(注):ゲートウェイカレッジの所定の科目を履修した学生が医学部医学科または歯学部歯学科の通常課程に異動できるような仕組みを検討中です。(詳細は後日お知らせします。)

東北大学が実現する未来型教育 ゲートウェイカレッジ

MOVE AND SHAKE.



国際混住寮への入居必須化

分野や科目選択のためのアカデミックサポート

*カリキュラムのイメージ

	コース共通科目(仮称)	専門科目・分野専門科目・ラボトレーニング(仮称)
特色	<p>【1年次】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期(春学期)は「英語イマージョン教育(英語に浸る教育)」を中心とし、英語での理解力・表現力を集中的に養成、併せてグループ学習やプロジェクト型授業を通じて、多様な分野の基礎を修得 後期(秋学期)以降は世界や社会の課題に挑む「国際共修科目」を多数開講、10月入学者と4月入学者の共修を開始 	<p>【2年次以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各分野において基礎となる科目や専門の修学に必要な科目を設定、高年次での教養科目開講 必修科目を最小限にとどめ選択科目を多数用意し学生の選択肢を広げる、ICTを積極活用する授業も展開 国際体験やフィールドワークなど様々な活動 AIリテラシー等次世代の知を育む科目を設置
		<ul style="list-style-type: none"> 低年次に各専門分野を知るオムニバス授業や研究機会(プレラボ)を設定、各授業科目と将来の研究分野の関連の理解など、学生の進路決定を支援 座学授業に加え、課題解決型授業を開講し、複雑化する様々な課題に取り組む姿勢や実践力を育む 多様な科目選択・経験を経て、大学院につながる深い専門知識を修得 国際卓越研究大学の強みを生かし、優れた研究環境での先端的な学び

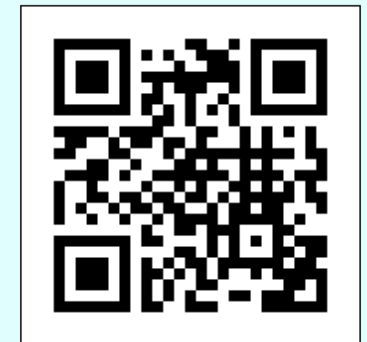
ゲートウェイカレッジの入学者選抜

MOVE AND SHAKE.



- 学部(系／学科)別によらない入学者選抜を導入
- 学びの背景に対応した複数の区分を設置
- 多様な学習歴を尊重し、日本国内・外を問わずゲートウェイカレッジで学びたい方が入学できる要件を設置
- 4月入学(第1期)、10月入学(第2期)を個別に募集
 - ✓ 4月入学(第1期):88名
 - ✓ 10月入学(第2期):90名

詳しくは【東北大学アドミッション機構WEBサイト】で公表



<https://www.tnc.tohoku.ac.jp/>

「ゲートウェイカレッジ」と「従来型課程」との比較

MOVE AND SHAKE.



	ゲートウェイカレッジへの入学	志望学部への入学(「従来型課程」)
入学者選抜	<ul style="list-style-type: none"> ● 出願の時点で学部(学科・系)を決定しない、志願者の学習歴を考慮した入学者選抜を実施 ● 国籍や日本での教育歴による制限なし 	<ul style="list-style-type: none"> ● 希望分野に基づき、出願時に学部(学科・系)を選択し、入学 ● 多くの選抜区分による複数の受験機会あり
カリキュラム(授業)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の希望、適性に合致する専門分野を入学後に選択できるカリキュラム ● 英語を中心とした授業で、多言語で思考する・表現する力を育成 ● 異なる学問分野を横断的に学ぶための授業科目を提供 ● 英語授業で学位を取得できる学部を拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全学生が受講する「全学教育科目」に加え、各学部が提供する「専門教育科目」を段階的に受講し、専門性を向上
	<p>【両課程に共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際化推進(国際体験、留学生と共に学ぶ国際共修) ● ゲートウェイカレッジの学生と各学部の学生が共に学ぶ授業も提供 	
学部決定	<ul style="list-style-type: none"> ● 科目履修を経て所定の時期に専門分野を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 所属学部は入学時に決定
	<p>【両課程に共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 卒業時には各専門分野の学位を授与(例:「学士(文学)」) 	
輩出する人材	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来の課程に加え、幅広い学問分野に触れながら各専門分野の学修を深め、様々な文化的背景を持つ学生が学ぶ共修環境で、グローバルに、かつ多方面でリーダーシップを発揮できる人材 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学部の教育で得た知識や技能を生かし、多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材

※ カリキュラム等の相違はありますが、東北大学での学びの選択肢が増加

※ ゲートウェイカレッジの創設により、入学者の多様性が増し、国際共修環境となることで「従来型選抜(一般選抜やAO入試)」で入学する方にもメリットあり



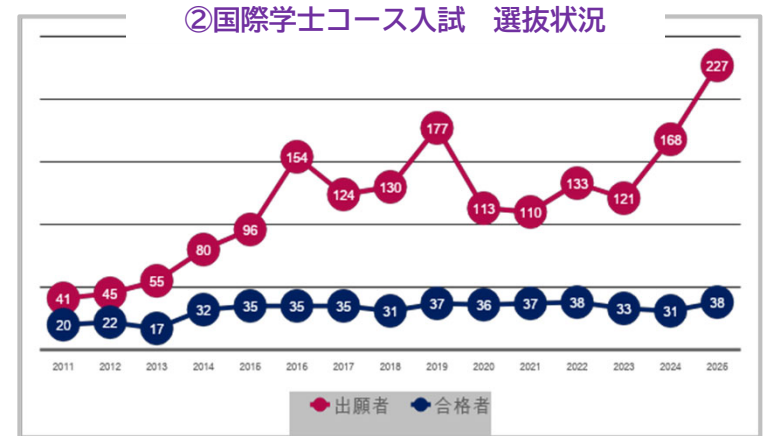
多様な学生の受入れ・大学の教育国際化を先導した東北大学のこれまでの実績

①総合型選抜の比率が国立大学最大規模（全募集人員の約3割）

多様な背景を持つ学生を、より丁寧な選抜を通して受け入れ、入学後も主体的に学び続ける人材を確保

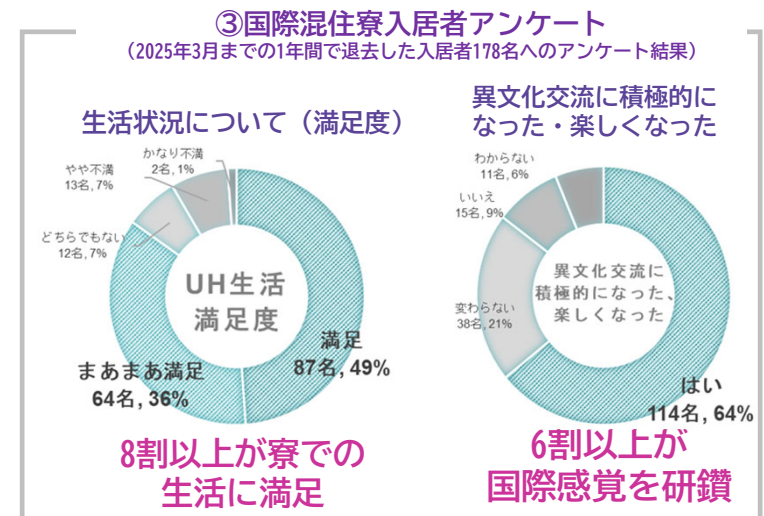
②英語による授業で学部を卒業可能な「国際学士コース」の設置

2011年の理・工・農学部での受け入れ開始以来、約350名が入学
2025年は約30名の募集に対して227名の志願者を集め、倍率は約8倍と高い水準での選抜を実施（2026年まで募集）



③国立大学最大規模の国際混住寮

約1,400室を有し、世界各国の留学生と国内学生が共に暮らすことで、生活の場でも国際感覚を身につけるとともに、異文化理解の深化





多様な学生の受入れ・大学の教育国際化を先導した東北大学のこれまでの実績

④国立大学初：A0入試合格者への「入学前グローバル学習プログラム」

一足早く入学が決まったA0入試合格者の「大学生になったら留学したい」の声を入学前に実現

2015年度に国立大学で初めて導入、2025年は海外派遣型コース3校
国内派遣型コースを実施

(海外派遣型：米国・ハワイ大学マノア校、英国・ヨーク大学、米国・カルフォルニア大学バークレー校 各15名)
(国内派遣型：秋田・国際教養大学20名)



⑤留学生と国内学生が共に学ぶキャンパス ー国際共修授業ー

総合研究大学の特性を活かし、文理横断・多様な文化背景の学生が
言語・文化を超えてともに学ぶ科目を開講、年間79科目を開講し、
国内の国立大学では最多